



特別寄稿

持続可能性の大切さ

地球温暖化の主因が人間活動による二酸化炭素の排出にあると科学的に解明されたのは今から30年も前です。当初は多くの政界・財界人が批判的であり、結構な科学者が懐疑論をぶち上げていた。大気中のCO₂濃度が昨年末には400ppmを越し、度重なる台風被害が温暖化の影響であると多くの人の目にも明らかになり、最近では、あからさまな懐疑論者は少なくなった。しかし、国家の政策となると、経済成長を妨げるとして、世界第2位のCO₂排出国の米大統領をはじめ環境問題に熱心でない国家指導者が増えている。化石燃料で得た既得権益を死守し、石油が支えた成長路線を今後も維持しようとする抵抗勢力が現在でもまだ強い。日本政府も、石炭火力発電を維持ないし拡大しようとしている。

このような状況の中で、子供たちにどう環境問題を教えたらいいのか戸惑う。なぜなら、節電、ごみの減量化、廃棄プラスチックの害など小学生にも分かり易く、教え易い課題は広範に取り上げられているとはいえ、例えば温暖化に関して言えば、「国として根本に踏み込まない限りCO₂は減らせない」と思いながら教えざるを得ない。そういう教員や環境ボランティアの心理状態は子供にはすぐに見破られる。10年後、20年後のこの子たちの将来を確実に改善する目標がなければ説得力は無い。

日本の政府が未だ本気で取り組んでいない事、例えば、炭素税の導入；使い捨て商品の生産禁止、リサイクル可能商品の使用；自然エネルギー発電への明確な移行；教育と医療の

宇部市地球温暖化ネットワーク 代表 溝田 忠人
無償化；などをはっきり目標に掲げないと環境教育も中途半端になる。

先日、鳴門の大塚国際美術館に初めて行った。陶板に焼き付けた名画などと懐疑的だったが、行って観て驚いた。素人目にはわからぬほどの精巧さ、美しさもだがこれを作った理由の1つが2千年変色しないで残せることにあった。千年以上先に今残っている芸術を残そうという、現代版の正倉院構想であった。正にESD、SDGsを実践している。せめて100年先を考えて行動したい。



大塚国際美術館のピカソの大作「ゲルニカ」の原寸大陶板

◇◇ 学習館開催企画のご案内 ◇◇

●第4回 ESD 研修会(申込み不要)

日時：令和元年12月14日(土) 15:30～

場所：宇部市立図書館 2階 講座室

課題及び話題提供者：

【テーマ】他市における特色ある取組について

「山口市におけるエコチェックシート及びフードバンクの取り組み」

今村 主税 先生(温暖化とめるっちゃネットワーク)

「竜王山の自然を利用した体験学習」工業

嶋田 紀和 さん(山口県自然観察指導員)

資料代等500円/高校生以下無料

どなたでも
ご参加いただける
研修会です。



山口市



コオニクリ

山陽小野田市竜王山

まちなが おそうじ隊



12月22日(日)

15:00～
学習館前集合
道具不要

学習館では、学習館周辺や銀天街アーケード、塩田川、中川等を掃除しています。参加者はその日集まってくださった方々。おそうじ後はお茶会でホッとひと息♪

「サンタクロスロード2019」11/30(土)～1/4(土)



学習館のある中央街区公園で開催されます「サンタクロスロード2019」では、学習館前もさまざまなイルミネーションに彩られます。〈点灯 17:00～24:00〉

あたたかくしてお出掛けください！



宇部市環境学習ポータルサイト
「うべっくる」

うべっくる

検索

<http://www.ubekuru.com>

宇部市のいろいろな環境学習拠点の紹介、環境関連のイベントのお知らせなど、随時更新しています。

「銀天エコプラザ」の詳しい紹介もあります。

Facebook や Twitter へも、こちらからアクセスできます。

宇部興産株式会社 宇部藤曲工場

宇部興産(株)宇部藤曲工場って馴染みのない工場かもしれませんが、旧宇部アンモニア工業(有)です。

1969年に設立されました宇部アンモニア工業(有)の工場運営を2013年10月に宇部興産(株)が受託し、宇部藤曲工場が設立されました。宇部藤曲工場はアンモニア・ラクタム・ナイロンチェーンの宇部地区の最上流に位置しています。独特な技術で石油コークスからアンモニアを製造している国内唯一の工場です。

【事業所の概要】

- 所在地：山口県宇部市大字藤曲 2575 番地
- 設立：宇部アンモニア工業(有) 1969年6月14日
宇部興産(株)宇部藤曲工場 2013年10月1日
- 敷地：17万平方メートル
(約450m×400m)

【主な製品】

- 液体アンモニア
- 液化炭酸ガス
- 液化窒素
- 液化酸素
- 液化アルゴン等



宇部藤曲工場の全景

弊事業所の環境保全活動の一環として産業廃棄物のゼロエミッションを目指して活動しています。産業廃棄物の殆どを占めますスラグは全てセメント工場等で原燃料として使用される事で、宇部藤曲工場から排出します産業廃棄物の99%以上がリサイクルされ、結果的に石炭等の化石燃料の削減に繋がっています。一方で、スラグの発生が少ない原料の選定、運転方法の検討にも力を入れています。



液化炭酸ガス製造施設

また、2013年にはアンモニアの製造過程で発生します炭酸ガスの一部を回収して液化する液化炭酸ガス製造設備を立ち上げ、そこで製造された液化炭酸ガスをローリーで出荷しています。液化炭酸ガスはドライアイス、飲料用、工業用等として幅広く使われ、九州、京阪神エリア辺りまで出荷しています。現在この炭酸ガスの回収率を増やし液化炭酸ガスの更なる有効利用を検討しています。その他、弊事業所では照明設備のLED化、高効率モーターへの積極的更新など、出来ることから省エネを進めております。

これからも弊事業所は安全・安心で環境にやさしい「世界に誇れる工場」を目指します。

宇部藤曲工場
環境安全グループリーダー

うべ環境コミュニティー会員



コラム

いま思えば自然発生のESD!



2011年8月、まちなか環境学習館がオープンし、当時、公園内にあるステージでは、若者・高校生たちの3グループが日々ブレイクダンスの練習をしていた。タバコの吸い殻、飲食のゴミは散らかし放題であった。

彼らの前で寡黙のゴミ拾いを1ヶ月半ひとりりて実施。その内、若者たちとの信頼関係も深まってきた。

清掃へのきっかけは、ブレイクダンス練習の成果発表の機会を環境学習館で3ヶ月に1回開催する「まちなかエコ市場」への出演をすすめた。

その年の暮れの大掃除の時に、「君らが恩返しの大掃除に取り組めば、周囲の大人達の見る目も変わってくる」と提案したところ、彼らも納得し掃除に参加するに至った。そろいの腕章・火ばさみ・軍手を用意して、毎月1回最終

おそうじ隊に参加している青少年ら(宇部中央銀天街で)

銀天街で月1回の奉仕

10代の青少年を中心に「おそうじ隊」が結成され、宇部市まちなか環境学習館(銀天街)で毎月1回、施設を管理しているP.O.の人・宇部環境コミュニティー(宇部市立市長のメンバ)で清掃活動に取り組み、清掃活動のきっかけは環境学習館に勤務する職員の声掛け

宇部日報 2012.3.27

清掃活動で「恩返し」

「環境学習」への感謝を込めて

宇部中央銀天街

毎月1回 最終日曜日
清掃活動は毎月1回、最終日曜日の午後1時から行われている。

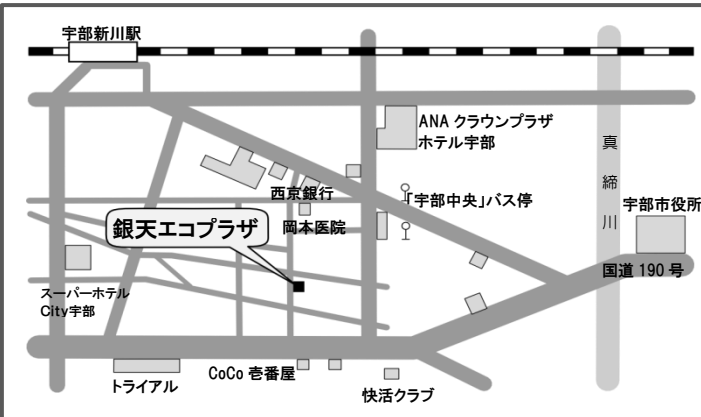
毎日新聞 2013.9.14

日曜日に銀天街アーケード・公園広場を掃除する「まちなかおそうじ隊」が発足する事になった。

毎回約10人程度の若者が参加した。4階の受験生も活動を意義があると、あわせて気分転換にと参加するようになった。

この2、3年より若者の参加が少なくなり大人が中心になっていて、若者のESDの価値ある活動が希薄になっているようにみられる。もう一度、原点に戻り、若者と大人が共同で清掃活動が継続されていくことを願います。

森山昭充



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 J R宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分
宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分
駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)

◇H30.6.1よりメールアドレスが下記の通り変更になりました◇
TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekuru@gmail.com

開館時間 9時～21時 HPアドレス: <http://ubekuru.com/>

休館日 毎週火曜日、年末年始(12月29日～1月3日)